

# 図書館だより 5月号

川之石高校図書委員会

ゴールデンウィークも終わり、1年次生も学校生活に慣れてきた頃ではないでしょうか。静かに落ち着いて朝の読書に取り組む姿が毎朝の光景になってきました。

本は自分の好みのものを買って読む派の人も、買ってまでは読まないから借りる派の人も。まずは10分間、手に取った一冊、目の前にある活字の世界をじっくり朝の読書で味わってください。ジャンルは問いません。自分の知識の幅を広げるため、どっぷり物語の世界観に浸るため、ノウハウを知って研究に生かすため、今のあなたに必要な一冊をぜひ図書室で見つけてみましょう。

## 【新任の先生より】

### 国語科 馬詰 晶子先生

数年前から読んでいた「後宮の烏」が完結した。国の創建に関わり、不思議な力を持つ烏妃という存在を軸に展開していく中華風後宮ファンタジー小説である。男子テニス部のキャプテンが読み進めていて、意外だった。ファンタジーといえば、バスケット部のポイントゲッターが「先生、ぼくこんなに分厚い本最後まで読んだの初めて。」と言った本が「ハリー・ポッターと賢者の石」だった。三回も読み直したそうだ。日本のファンタジーは荻原規子さんの「空色勾玉」。上村菜穂子さんのファンタジー作品もおもしろい。

「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」はイギリスの中学生のありのままの生活を描写している。国籍や考え方の違いを認め合うことの現実を考えさせられた。「本を読むことは違う世界を旅することだ。」とよく言われる。毎日わずか十分でも心は遠く飛んでいける。本の旅に出てほしい。



## 【図書委員おすすめの本】

### 〈読書精励賞達成 東海林茉莉さんのおすすめ〉『パーティミアス』シリーズ

この本は一人の魔術師の少年「ナサニエル」と中級の幼霊「パーティミアス」を中心としたファンタジー小説である。物語はナサニエルがパーティミアスを召喚するところから始まる。二人は仲が良いとは言えず口を開けば皮肉が飛び交う。そんな二人が強大な敵に立ち向かい、事件を解決するという内容だ。最初は互いを思いやることはなかった二人。しかし、黒幕との戦いでは、互いを認め、助け合うようになっていた。強大な敵を前に次第に追い詰められていく2人。そこで考えた敵を倒す唯一の作戦とは…。



話が進むにつれ、明らかになるパーティミアスの過去。最後に待ち受ける衝撃の展開。最初から最後まで楽しむことができる。この『パーティミアス』という本をぜひとも読んでほしい。

## 【4月・月間図書貸出冊数】

〈クラス別〉

4月11日～4月28日

1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3
0冊	34冊	36冊	1冊	5冊	0冊	5冊	24冊	18冊

〈個人別〉

1位 20冊 (3-2) 東海林 茉莉  
2位 18冊 (3-3) 前田 結衣  
3位 6冊 (1-3) 山川 涼平  
4位 5冊 (1-3) 清水 美愛



**借った本を返却してください！**

図書館オリエンテーションで本を借りた1年次生で、まだ返却していない生徒は、図書室の返却用コンテナに本を必ず返却してください。

本の無い家は窓の無い部屋のようなものだ。

ハインリヒ・マン（ドイツの作家／1871-1950）